

よこはま型
若者自立塾

若者自立就労支援 X 石巻進化躍進応援

やっぺす通信発行元

K2インターナショナルグループ
・NPO法人ヒューマンフェロシップ
・うんめえもん市

www.K2-inter.com/ishinomaki
Tel: 045-762-1435 (覚知・田上)

忘れないこと・続けること・進化すること

やっぺす通信 Vol.113

離れて
つながろう！

2021.4.1 発行



東日本大震災から 10年を迎えて

「忘れないこと・続けること・進化すること」

2021年3月11日(木)、東日本大震災から10年を迎えて、うんめえもん市報告会&交流会を横浜市役所(市民協働推進センター)にて行いました。会場とリモートと合わせて、60名以上の方々にご参加いただきました。

震災当時、石巻で被災したK2スタッフの亀山友理子が、この10年のうんめえもん市の活動の報告と10年を振り返っての感想を話しました。また、最後にK2インターナショナルグループ代表の金森克雄より、これまでの10年、そして今後の展望についての話がありましたので、ここに一部を抜粋し、ご紹介させていただきます。

東日本大震災から10年、私にとって、あの日のことは「忘れないこと」ではなく、「忘れられないこと」となりました。震災当時はあまり語る事が出来ませんでした。私は、映像よりも音での記憶としてあの日のことが残っています。津波と共にいろいろなものが流されていったあの音を、この時期になると、10年たった今でも鮮明に思い出してしまいます。鳴り続けるクラクション音、あちこちからの悲鳴や助けてという声、言葉では表現出来ない津波の濁音。私は母と一緒に間髪で避難所につくことができ、ギリギリで津波を免れましたが、津波の勢いが落ち着いた後も、すぐ近くの屋根の上や、塀の上から助けを求める人達の叫ぶ声が聞こえてきました。浸水した暗闇の中ではどうすることも出来ず、一晩中、声をかけあひながら朝を待ちましたが、翌日、助かった人、助からなかった人と、大きく明暗がわがれました。当時は、何が起こったのか起こっているのか現状をなかなか把握できずにいました。日が経つにつれ少しずつ情報が入ってきて、現状が見えてくるという状態で、被害の大きさがわかってくるにつれ、この世に神様が居るのなら、どうしてこんなことが起こるのか？と何度も問いかける日々が続きました。

ですが、この震災をきっかけに、日本中の、世界中の本当に多くの方々が、まだ余震の続く東北へ、次から次へと支援に入ってくださいました。私は、多くの優しさや思いに触れ、東北は、見捨てられたのではなく、たくさんの人達の想いが集まる拠点になったのだと少しずつ感じられるようになっていきました。それでも何年もの間、大切な友人・知人が犠牲になったこともあり「何故、私じゃなかったんだろう？私が代わりに犠牲になればよかった」という思いになり、「あなたは生かされたんだよ、まだこの世での役割があるんだよ」と声をかけてもらっても、どうしても何故？という思いに戻ってしまいました。今やっと10年が過ぎ、あの時の痛みが私の一部となって、今の自分となり、生かされている、と自然に思えるようになりました。

K2石巻が出来てからも10年。ここではご紹介しきれない多くの出来事がありました。10年で終結するのではなく、今、石巻に住民票を移し、生活し、繋がっている多くの若者たちが、これからの石巻の未来を作ってくれていくと思っています。石巻では、震災前から過疎化という課題がありましたが、震災をきっかけにさらに深刻化していきました。でも、K2につながる若者達は、石巻という地域特性が自分にあって生きやすいと感じ、ジョブキャンプに参加したことをきっかけに、一定数のメンバーがまた石巻へ戻ってきています。

「石巻はおもしろい 石巻はチャンス 石巻で生きる」

これからも多くの若者たちが石巻でチャンスを見出し、ここで生き、未来を支える希望になってくれると願っています。

K2スタッフ 亀山 友理子



震災当時の心境を語るスタッフ亀山



うんめえもん市販売の様子



振り返り動画放映中の様子



代表の金森より今後について

支援者にこそ支援を！

私たちがこの活動を今まで続けていけているのはなぜでしょうか？

私たちは石巻を支援するのではなく、石巻の人たちに励まされて、支援が「支縁」になって今があります。

10年経ちましたけど、当時の事は忘れられません。こんなことがあるのかというぐらいショックでした。

私たちは生きづらさを抱えて、家から出れない子達と一緒に30年やってきましたが、その子達が石巻だったら楽に生きると言いました。石巻のほうが楽できるねんと、選ぶ子が出てきたんですよ。上から目線ではなく、その事が喜びになっているんですよ。そして横浜で不登校や引きこもりだった若者が12名も石巻の住人になり、現地で働き、生活しています。

この10年の間に一番うれしかったのは、石巻の人達が「K2大丈夫か？心配だ」とK2の子達を元気づけようと言って「K2友の会」を作ってくれたことです。今も続けているのはそういう事だと思っています。

上からの支援や自己犠牲的な事では続かないと思っています。

そしてこの活動は横浜市の協力がなかったらできなかった事です。

これからも横浜市と対等なかかわりの中で色々な事業が展開していけることを望んでいます。

最後に、私たちが支援者と呼ばれる者であるなら、私たちが支援される事が必要です。支援者が支援者でいられるのは支援者を後押ししてくれる人がいるからです。

どうかこれからもこの活動が続けていけることを願っています。

K2インターナショナルグループ代表 金森 克雄

防災について考える ～ 避難のカスケード ～

今回のうんめえもん報告会では、石巻からZOOMで、石巻市立門脇小学校の当時の校長先生の鈴木洋子さんも参加くださいました。当時門脇小学校は、津波の指定避難所となっていたのですが、鈴木先生は、「災害に絶対の安全はない」という考えで、地震発生後の15分後には校舎にいた児童224名と日和山まで避難していたのです。鈴木先生の行動は、NHKスペシャルでも取り上げられ、避難に踏み切れない状況を打ち破り真っ先に避難を始める「率先避難者」と呼び、身近な人だけでなく、関係性のない人にまで、避難が連鎖する様子を滝の流れになぞらえ、「避難のカスケード」と名付けられました。鈴木さんは、うんめえもん市のきっかけとなった玉井海産物店の店主の玉井さんと個人的なつながりがあり、今回も玉井さんのお宅からリモートで参加くださり、当時の様子や防災の大切さについてお話をいただきました。横浜から若者たちが石巻の被災地見学をする際に同行いただき、案内していただきました。現在も防災教育の講演や被災地の案内の活動を続けられ、また震災当時のことを詠った歌集「矩形の洞」を出版されています。その一部をご紹介します。



- 日和山 割らんばかりに 襲い来し あの波音を 仕舞い込む耳
- 床下から 突き上げらるる 強気揺れ 書類飛び散り 額砕け落つ
- 燃え尽きし 教室棟は 黒き洞の 矩形となりて 海に開けり



玉井さん宅でのうんめえもん市報告会の様子



2011年ジョブキャンプで訪れた石巻の様子

みえこガガの直伝レシピ

石巻の屋水産のさんま缶は
うんめえもん市通販サイトに販売中です！
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/unmeemon>



【さんま缶のホイル焼き】

[材料(2人分)]
さんま缶(醤油味付):1缶
じゃがいも:1個
ミニトマト:2個
万能ねぎ:適量
とろけるチーズ:適量

○作り方

- 1) さんま缶は身と汁にわけます。
- 2) ジャがいもは皮をむいて一口大に切ったらレンジで3分加熱します。
- 3) アルミホイルを2枚重ねて置き、さんま・じゃがいも・ミニトマトを並べ、缶の汁(大さじ1)、とろけるチーズをかけ、アルミホイルを閉じて包みます。
- 4) ③をトースターで10分ほど焼いたら完成!

★缶詰の汁も使うので味付けいらずで簡単にできます!

さんま缶のホイル焼き



2021年度 うんめえもん市 開催スケジュール

～K2石巻だより～

(4月)		(5月)	
8日(木) 都筑区役所	10:00～16:00	7日(金) 磯子区役所	10:00～16:00
15日(木) 磯子区役所	10:00～16:00	17日(月) 横浜市役所(2F)	10:00～14:00
19日(月) 横浜市役所(2F)	10:00～14:00	24日(月) 南区役所(物産のみ)	10:00～16:00
28日(水) 南区役所	10:00～16:00	27日(木) 都筑区役所	10:00～16:00
(6月)			
14日(月) 横浜市役所(2F)	10:00～14:00		
17日(木) 磯子区役所	10:00～16:00		
24日(木) 都筑区役所	10:00～16:00		
29日(火) 南区役所	10:00～16:00		

(5月)	
7日(金) 磯子区役所	10:00～16:00
17日(月) 横浜市役所(2F)	10:00～14:00
24日(月) 南区役所(物産のみ)	10:00～16:00
27日(木) 都筑区役所	10:00～16:00

※予定は変更されることがあります。
詳しくは事務所までお問い合わせ頂くか、
右記QRコードからLINEの
友達登録をして頂くと、
開催に合わせて通知を
受け取ることができます。



石巻のミツバチも無事に
全群越冬出来ました!!
これからは楽しみです。